

パンデミック（インフルエンザの世界的大流行）に備える!!

〈質問〉

新型インフルエンザが猛威を振るった場合、事業の継続ができなくなつて大変になるとのうわさを聞きました。また、その事業継続するための計画もあるとのことですが、教えていただけますか？

〈回答〉

今回の新型インフルエンザは、従来豚が感染し、豚から人へ感染できるものに変異しておきたもので、いつ発生してもおかしくない差し迫った状況ですし、ひとたび発生すれば人類に免疫がないため、すぐに世界中に拡がってしまいます。



緊急事態に備えて、普段から事業を継続するため、自宅待機社員や子供が幼稚園や学校に行けない社員がでて、通常の操業ができなくなる。

- ・ 仕入先が操業中止して、資材などが入ってこなくなる。
- ・ 売り上げ減少の影響で資金繰りがきつくなる

が、取引金融機関も混乱して、融資の申し込みにさえなかなか難しい状況になる。

- 3. BCCP（事業継続計画）とは？

事業継続の計画をBCPといいますが、企業が地震や大火災、新型インフルエンザの大流行などの

緊急事態に備えて、普段から事業を継続するため、自宅待機社員や子供が幼稚園や学校に行けない社員がでて、通常の操業ができなくなる。『緊急時にどの事業を継続させるのか？』や、『そのために何を準備し、どのように継続するのか？』などを検討します。

新型インフルエンザの流行時には、働ける人や部品・原材料の入手などに制約が生じることが予想されます。そのような状況の中で、自社の事業の継続を考えていかなければなりません。

（中小企業診断士・社会保険労務士・平松 徹）